



第62号
平成29年2月28日

発行所
宮城県伊具高等学校
同窓会
宮城県伊具郡丸森町雁歌51
TEL 0224-72-2020
URL <http://www.igukou.com>
発行責任者 鈴木英晴

印刷所
佐藤印刷株式会社



創立100周年に向けて

同窓会会長

佐藤 吉市

会員の皆様には平成29年の新春を穏やかに迎えられましたこととお喜び申し上げますと共に、お元気で活躍のことと存じ、心からお喜び申し上げます。

28年度、母校からの卒業生は96名であり、同窓会に入会することになります。今年は西年、心から歓迎すると共に、大きく世界に飛び立ち伊具高校の名声を広めて頂きたいと希望するものです。

平成23年3月11日の東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所放射能汚染事故から、丸6年目を迎えようとしています。山の恵みである春のタケノコ、タラの芽、ワラビなどはまだまだ販売が規制されており、今年はどうなるか不安です。角田市・丸森町の山間部からの土砂・採石等の運搬移動に利用するダンブ等の交通量が非常に多く、28年度と変わりなく、沿岸部の復興は時間がかかるよう

で、町民・市民の支障は長くなるようです。

久しぶりに妻と友人3人で新地町と丸森町との境界にある430mの鹿狼山に、初日の出の参拝登山に朝5時出発で大内から出かけてみました。約1時間30分登山、風もなく穏やかな海、早朝7時頃には老若男女3000人位の参拝客にはビックリ。初日の出も例年よりもすばらしく、心新たな朝でした。機会がありましたら登山を勧めたいです。

昨年12月30日の河北新報の「シリーズみやぎ・学び舎レポート」に掲載された母校の紹介記事を読んだ会員もおられるかと思いますが、紹介したいと思っています。

○校訓 質実剛健・穩健着実

○教育目標 総合学科の特色ある多様な教科・科目の選択履修を通じて教育によって、地域社会の将来を託すにふさわ

しい「生きる知恵」にあふれた人材の育成を目指す。

丸森地域に根ざした学校を目指し、総合実習棟・実習農場・演習林・温室およびコンピュータ実習室等の施設を有し、農業・工業・福祉および商業の専門教育を実践。部活動も盛んで、特色あるものに電気機械部があり、本年度は「電気自動車エコラン競技会」および「手作り自動車省燃費競技大会（宮城県大会）」で共に1位・2位を占めた。農業クラブは、毎年秋田で開催される「砂像甲子園大会」に出場し、過去に準優勝に輝いている。さらに東京で開かれた「全国高校生そば打ち選手権大会」にも出場した。丸森町の「齋理幻夜」では、司会進行や吹奏楽部の演奏など地域に根ざした活動を行っている。

と紹介しています。

また、庄子径二校長は、「本校は1920年、伊具農蚕学校として設立。その後、変遷を経て、1963年に宮城県伊具高等学校と変更、1999年より総合学科に生まれ変わりました。現在は農学・機械・情報・福祉の4系列を設置しております。総合学科の特性を生かし、キャリア教育の充実に努め、「進路保証100%」を目標に努力しております。地域社会の将来を託すにふさわしい「生きる知恵」にあふれた人材の育成を地域と連携しながら努めてまいります。本校は2020年、創立100周年を迎えます。これから地域

の期待に応え、信頼される学校を目指して参りますので、皆様のご支持とご協力をお願いいたします。」と述べています。

以上が新聞紹介の全文であります。会長として、より一層、応援・協力する事が、我々同窓会会員の使命と実感しております。

さて、2020年、平成32年には、創立100周年を迎える事となります。平成28年2月22日に創立100周年記念実行委員会設立準備委員会を開催しております。同年12月8日には、創立100周年記念事業実行委員会設立総会を開催し、記念事業の骨子・日程等案を確認した事を報告させて頂きました。まだまだ計画の段階であります。今後の事業計画の進め方をお知らせいたします。

◎創立100周年記念事業内容

①創立100周年記念式典
開催時期
平成32年11月吉日

式典会場 本校体育館

②創立100周年記念誌発行

第1部 本校校史
第2部 思い出の記
第3部 資料集

③その他の記念事業

- (1) 記念祝賀会
- (2) 記念講演
- (3) 感謝状
- (4) 記念品
- (5) 案内状
- (6) 同窓会名簿
- (7) アトラクション
- (8) 記念植樹

(9) その他

④構成
本校同窓会役員・同PTA役員並びに本会の趣旨に賛同する有志・団体を構成する。

以上が事業内容であり、宮城県伊具高等学校創立100周年記念事業実行委員会規約を作成し、32年に向けて、今後同窓会総会・支部総会等において、ご意見をいただきながら、計画を進めていきたいと思います。今後の年度ごとの進め方の計画をお知らせいたします。

①平成29年度

「記念事業」実施要項策定

「記念事業予算」策定
「資金活動計画」策定

②平成30年度

「記念事業の準備」(着手)

③平成31年度

「記念事業の準備」(継続)

④平成32年度

「創立100周年記念式典」
挙行

「創立記念行事」実施

以上の事業計画と年次計画が始まっており、今後会員の皆様のご意見を頂きながら、より良い記念事業を作り上げていきたいと思っています。今後、記念事業の資金財源・資金活動計画が策定され次第、同窓会会員にお知らせし、改めてご協力依頼をさせていただきます。今後とも絶大なるご協力・ご支援を心からお願ひし、年頭の挨拶とさせていただきます。
(農業20回・大内支部)



創立100周年に向けて

学校長

庄司 径二

平成27年4月に着任以来、伊具高校での生活も早いもので、2年を過ぎようとしています。同窓会の皆さまには、日頃より本校の教育活動に對しまして、物心両面にわたり多大なるご協力とご支援を賜わり、心より厚く御礼申し上げます。

今年度も、本部同窓会総会を始め、角田支部、大張支部、大内支部の総会に出席させていただきました。多くの同窓生の皆さまから、貴重なお話を伺うことができました。重ねて御礼申し上げます。

今年度の本校の教育重点目標は、①基本的な生活習慣を養成し、社会人としての資質・能力を身に付けさせる。②基礎学力の定着を図り、希望進路を達成できる学力を身に付けさせる。③勤労観・職業観を養うキャリア教育を組織的に推進する。④学校行事・部活動・地域連携活動の活性化を推進する。前年度の目標を基本として、⑤安心して学校生活を送れるよう、安全教育を推進する。を重点目標に加え、安心安全な学校づくりとともに、「知・徳・体」の調和の取れた人材の育成を目指し取り組んでまいりました。

さて、平成28年度も締めくくりの時期がまいりましたが、今年度も生徒諸君は熱心に諸活動に取り組まれました。その一部を紹介いたします。まず、運動部の仙南総体においては、柔道部男子が団体3位・個人で3名が入賞、バドミントン女子が学校対抗2位、ソフトテニス部男子は仙南高校選手権大会において優勝、また、新人大会においては、バドミントン部女子が学校対抗優勝、柔道部が個人2階級で優勝、県新人大会で個人3位、ソフトテニス部男子が団体3位、陸上競技部は男子5000m競歩で3位と素晴らしい結果を残してくれました。また、野球においては部員10人夏の大会に臨んだが2回戦敗退、しかし、5併殺を完成するなど伊具高らしい粘りのある試合を展開してくれました。ただ、現在部員不足によりチームが組めないため、次年度に向け部員確保を目指したい。また、各部とも部員不足の状況ではあるが、少ないながらも一生懸命日々の練習を頑張っています。今後の活躍を期待しているところです。

また、文化部においては、吹奏楽部が仙南地区大会で銅賞、

美術部の仙南高校美術展において優秀賞、書道部の県高校書道展で特選、日本童謡の書展覧会で準大賞、電気機械部が電気自動車エコラン競技大会四輪部門で1位2位独占、手作り自動車省燃費大会においても1位2位と素晴らしい結果を残してくれました。

来年度は、全国高校総合体育大会「南東北総体2017」と全国高等学校総合文化祭「みやぎ総文2017」が開催されます。多くの生徒諸君の活躍を期待したいと思います。

その他、家畜審査競技会肉用牛の部及び技術競技会乳用牛の部で奨励賞、文化連盟工業専門部の生徒活動成果発表会で優秀賞や全国砂像甲子園・全国そば打ち選手権大会への参加など系列における活躍も目を見張るものがありました。

さらに、地域に根ざした活動としては、「斎理幻夜」「丸森町総合文化祭」「ひっぱ筆まつり」「花の植栽」など、生徒の活躍は称賛に価するもので、大変嬉しく思います。

次に、進路面においては、教育重点目標として、「勤労観・職業観を養うキャリア教育を組織的に推進する。」を掲げ、生徒の希望する進路実現に向け「進路保障100%」を目指し、計画的・継続的に進路指導に取り組んでおります。

さて、ご承知のとおり、本校

は「2020年」東京オリンピック開催年の「平成32年」に、創立100周年を迎えます。伊具高校の同窓生は、今年度の卒業生を加えすと14000名を越え、各方面で活躍されておられます。

昨年度、創立100周年記念事業実行委員会設立準備委員会を立上げ、2月に準備委員会を実施いたしました。今年度は、4月のPTA総会、8月の同窓会総会で柱となる事業内容を説明させていただき承認をいただきました。その後、12月に設立準備委員会から記念事業実行委員会に移行するため、創立100周年記念事業実行委員会設立総会を開催し、ご出席いただきました皆様から承認をいただきました。今後は、同窓生の皆様と一緒に、記念事業成功に向け努力してまいります。

最後になりますが、創立100周年を迎える本校の歴史と伝統に敬意と感謝の気持ちを心に刻みながら、地域社会から一層信頼される活力に満ちた学校づくりと変化する時代を生き抜く力を備えた人材育成に努めてまいりますので、今後とも母校発展のために、同窓会の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成28年度総会報告

8月7日(日) 午後2時
(評議員会午後1時)
国民宿舎あぶくま荘

●協議事項

一 平成27年度事業・会計報告並びに承認

二 平成28年度事業計画・予算案審議

三 会則の改正について

本会会計の経常部と基金部について、現在の状況に合わせて条文を改正。

四 母校創立100周年記念事業準備委員会の報告

五 その他

●懇親会

国民宿舎あぶくま荘

午後3時

今年度は丸森町長および角田市長ご来臨のもと、遠く関東支部からもお運びいただき、参加者は38名となり、会員の皆様の母校創立100周年に對する熱意が感じられる大変にぎやかな総会・懇親会になりました。創立100周年記念事業実行委員会準備委員会の報告に對しましては、活発な議論が展開され、貴重なご意見をいただくことができました。

その後の懇親会でも100周年を迎えるにあたっての会員の皆様の思いは尽きることなく、総会に続いて様々な意

祝受章

旭日双光章

穴戸秀逸様

(農蚕13回・耕野支部)



このたびは耕野支部長である穴戸秀逸様が秋の叙勲で旭日双光章を受章されました。24年6期にわたる丸森町議会議員および4年間の同議長としての功績が、高く評価されたものです。

穴戸様はお祖父様が耕野製糸の工場長を務められたり、伯母様は現東京農工大学で養蚕の勉強をされたりと、耕野地区の発



展のために尽力されたお手柄です。穴戸様も高校卒業後、家業の養蚕業を継ぎながら、地域に寄与されてきました。

議会関係では前述のほかに仙南地方町村議会議長の会長も務められ、仙南地方・県・全国の町村議会会長表彰を受けておられます。また、蚕業青年会を組織して活躍され、宮城県農業賞や大日本蚕糸会総裁表彰を受賞されているほか、県消防協会会長表彰や消防永年勤続表彰(県知事表彰)も受けていらっしゃると思います。さらに、農業委員会や農業協同組合、森林組合でも要職を務められました。

議員生活の中で特に力を入れたことは、特産品のこころ柿についての肥培管理と道路の改良についてだそうです。こころ柿づくりでは町による農薬代の半分の助成を実現させ、道路改良では土木事務所にて区長や県議とともに陳情に訪れているということでした。

特に思い出深いことは、議員になって始めて取り組まなければならなかった耕野地区への産業廃棄物処分場設置計画に対する反対運動だそうです。当時、県は住民の意見に聞く耳を持たず、届け出制で営業を許可しました。そこで住民430名により業者を相手に「工事の中止と操業の中止」を求める仮処分を仙台地裁に申請しました。33回にもものぼる裁判に地区民はバス

で駆けつけ、操業差し止めを勝ち取ったのでした。穴戸様の地域住民の生活を守り、地区民の心をついにまとめ戦い抜いた功績が輝いています。耕野まちづくりセンターに建立された「闘魂碑」には次のような一文が記されています「我々同盟会の終始一環大同団結、一糸乱れぬ団結の力は愛郷精神の現れであり、難局を打開する闘魂以外何物もないと信ずる。この苦闘の実績は耕野の歴史に輝く偉業として永く後世に引き継がれるものと確信する。」

穴戸様、受章おめでとうございます。これからもご健康に留意され、ますますのご活躍をお祈りいたします。

(事務局 鈴木英晴)

瑞宝単光章

横山照男様

(農蚕15回・関東支部)



横山照男様の受章にあたりまして、恩師である小野寺正人先生よりご紹介いただきましたので、ご紹介いたします。

私は昭和33年4月1日から昭和48年3月31日まで御校に勤務したものでございます。その間主として農蚕科・農業科の学級

担任を致しました。その中で昭和39年農蚕科を卒業した、私が担任した卒業生で埼玉県警察官になり、平成15年3月31日に退職した卒業生が、平成27年秋の生存者叙勲の栄に浴したとの連絡を受けましたので紹介致します。

瑞宝単光章 横山照男

昭和39年3月

農蚕科第15回卒業

経歴

昭和39年3月1日 卒業

昭和39年10月1日

埼玉県警察巡查拝命

警察学校入学

昭和40年10月

埼玉県警察

大宮駅前交番勤務

昭和48年4月

川口警察署勤務(巡査長)

昭和50年4月

川越警察署

交通部交通指導課

昭和63年4月

蕨警察署勤務(警部補)

狭山警察署勤務

越谷警察署勤務

平成15年4月1日 退職

(本人談) 数多い警察官退職者の中から、何故自分が選ばれて受章したのだらうと考えてみましたが、交番勤務の時に、私のことが地元の新聞に親切なおまわりさんとして掲載されたことが2度ほどあったのが、関係あるのかなーと思ったりして

見交換が行われました。役員の皆様だけでなく、一般の会員の皆様にも多数ご参加いただきましたことに感謝申し上げます。

(事務局 鈴木英晴)



います。

その① 大宮駅前交番勤務中のこと

ちょうど勤務明けで帰宅しようとしていた時、病気の娘を訪ねて上京した老婆を、その入院先まで連れて行った。老婆が涙を流して感謝した。

その② 病気の身内の看病の為に上京して、道に迷っていた老婆をタクシーに乗せて病院まで送り届けた。

本人談は小野寺が代筆しましたが、そのほかにも善行がいくつかあったようです。本人は字が下手だからと書くとうしないので小野寺が代筆しました。

新嘗祭に新粟を献穀

大槻 光 一様

(農業18回 大張支部)



この度、本校同窓生の大槻光一様が10月27日に、皇室行事である新嘗祭で天皇陛下により天神地祇に奉られる新粟を献穀されました。大槻様は宮城県を代表して新粟を7年前から献上されています。平成21年までは村田町在住の方が献穀されており、その後大張雑穀研究会の代表である佐藤様とともに同伴者として皇居に赴き、28年度に献穀者として献上されてきたそうです。粟5合は絹の袋に納め、それを桐の箱に入れ、決められた結び方でその箱を紐で結い、紫の風呂敷に包んで献穀します。粟は収穫したものをただ包んで奉納すればよいというものではありません。収穫後に精白をして放射能測定検査を行い、1粒1粒小さな粒の中から選別をしてゴミを取り除かねばならず、これが一苦労だとのこと。今年も献穀が決まっ

てから発芽の状態もよくなく、随分心配されたそうです。米の収穫時期とも重なるため日中の

作業はできず、夕方から夜遅くまで1週間あまりもかかって、小さな粟の粒をゴミと選別する作業を行ったということです。大槻様は10年前に「大張雑穀研究会」を立ち上げられました。粟をはじめとする6種類の雑穀は冷害にも強いという特長を持っていきます。先進地の岩手県にも視察に訪れ、8名の方々と6種類の雑穀を作っていたらっしゃるそうです。こうして作られた雑穀は「大張り切り『6穀米』」として商標登録もされ売

り出されています。白米に混ぜて炊くと赤飯のようなピンク色にふっくらと炊け、栄養価も高いとのこと。このような苦勞の成果がこれまでの献穀に繋がったのだと思います。

大槻様は本会大張支部の事務局長としても尽力されたほか、大張自治運営協議会の事務局長を9年間務められ、地域の発展に寄与されてきました。「やってみて大張」による地区内の道標整備や、名所・石碑等を整備し説明板を設置されたり、棚田百選にも選定されている沢尻棚田の運営も行っているらしいです。今年も遠くアフリカのザンビアから農業視察団の4人を招き入れ、稲刈りの実習を行ったとのこと。

大張地区にはなくてはならない大槻様、健康に留意され、今後も活躍されますよう祈念致します。(事務局 鈴木英晴)

会員の声

いも思ひいよ

一條 吉男

(農蚕4回・柴田支部)

私は昭和28年3月、農蚕科卒業です。太平洋戦争の復興がまだで、衣食住などあらゆる面で不足の時代でした。

当時、校舎は木造平屋2棟で、その西の方に蚕室や畜舎などが建ち並び、周りは実習用の田畑だった。登校は、自転車、バス、徒歩でした。

私の実家は徒歩数分、学校が見える山あい酪農を今も兄と甥が頑張っている。あの頃はまだ機械化されず大変で、登校前の朝仕事などで、時間すれすれに最短距離で駆け込むことが時々あった。ある時、先生に見つかり叱られたことも。そんな訳で下校後も家の手伝いと勉強で忙しかった。

卒業後は先生方のおかげで農林省宮城統計調査事務所角田出張所に就職し、農地の実測、作付け状況や水稻の生育調査、統計処理など、興味とやり甲斐のある職場だったが、その後、先生方や家族の理解と協力で、茨城大学農学部を卒業し、先生方のお世話で定時制筆甫分校に勤め、転々して最後は宮城県柴田農林高等学校に、長らく勤め定年退職しました。

日本農業は今、転換期にかかり大いなる改革をせまられ、今の機械化、IT化、グロ

バル化、TPP等、社会はIoT化(第4次産業革命)が進んでいる。尚、世界は、温暖化による気候の激変や砂漠化、生活の向上、貿易バランスなど個人では解決できない。世界が、社会が、政治が、人類の幸せの本質の解決に真剣に熟慮して取り組んで欲しい。やがて食料不足が争いに、と思うと世のリーダー達はどうか対処するのか私たちは真剣に見守らなければと思う。自国の食料の自給率を高めよう。70年も続いた平和が永遠であることを切に願うものである。

出会いを大切に

菊地 英昭

(商業7回・大内支部)



一、はじめに 私は昭和47年3月に伊具高等学校の商業科を卒業しました。当時は景気が良かったように思いました。

同級生は民間の企業に就職する人が多かったです。それでも私は中学・高校で剣道をやっていたので、自衛官になるか、警察官になるか迷っていました。そんな時です。日本中をテレビに釘付けにした連合赤軍によるあさま山荘人質事件を見て、警察官になろうと思いました。

そして、18年間過ごした丸森を後にして「生馬の目を抜く」と言われる東京で警視庁巡査を

拝命しました。

退職までの42年間、多くの人との出会いがありました。その中で印象に残っている出会いについて述べてみます。

二、印象に残っている出会いについて

最初は警察学校で出会った担当の教官(担任)と助教(副担任)の先生です。

教官は元自衛官(栃木県出身の40歳)で、父親的存在で非常に厳しい人で、何でも先頭に立って行動することで、私達学生を立派な警察官に育て上げようとする熱血教官でした。

また、助教は和歌山県出身の30歳で、大学卒の有職者で母親的存在のやさしい助教でした。つぎの出会い、武道専科教養であります。この教養は警察武道全般にわたり教養を受けるものです。

担当師範は鹿児島出身の元教師で柔道三段の森山衛師範で、警察署と機動隊勤務で大変お世話になった先生であります。

また、担当教師は熊本県出身の中村毅教師で、2年間警視庁剣道特練員としてお世話になった先生であります。

三、おわりに
退職後、母校である伊具高剣道部に顔を出したところ、顧問の津藤先生(生徒指導部副部長)が快く受け入れてくださいました。

また、津藤先生の口添えで三塚校長(当時)と出会い1年間生徒指導サポーターを庄司校長のもとでさせていただきました。

そして昨年9月から業務補助員（技師）として、伊具高に勤務させていただいています。これからも剣道を通しての出会いを大切にしていきたいと思っています。

小斎支部代議員会開催

小斎支部の代議員会が2月10日（金）、小斎まちづくりセンターで行われました。小斎支部では平成16年度に総会が開かれて以来の開催となりました。

議題として、母校創立100周年に向けての新たな支部体制について協議されました。また、総会の開催についても話し合われました。

小斎支部総会の日程は次のとおりです。小斎在住の会員の皆様の参加をお願いいたします。

小斎支部総会

日時 平成29年3月15日
（水）19時～
会場 小斎まちづくり
センター

（事務局 鈴木英晴）



今の私を

作ってくれた場所

廣幡 純子

（生技2回・大内支部）

私が生活技術科を卒業したのは、平成8年。もう20年も前です。楽しかったはずの高校生活ですが、今となつては会員の声に原稿をというお話を頂くまでほとんど思い返す事もありませんでした。

まず思い出したのは、部活動の事です。たくさんの方の良き仲間・顧問の先生に恵まれて、3年間やり遂げることができました。弓道部でしたので、もちろん初心者。先輩達から教わる事も多く、人間関係についても深く学ぶ事ができました。実りある時間を過ごせた場所だったと思います。

今、私は看護師として働いていますが、こうして資格を持つきっかけができたのも、高校時代の思い出です。小さい頃からの憧れだった看護師ですが、自分には無理と諦めていました。しかし、3年間担任をして下さった高橋彩子先生に励まし続けて頂き、無事に看護学校に合格する事ができました。努力したことを思い出します。

看護師の仕事と伊具高で学んだ事が何の関係もないように感じ、看護学校で勉強について行けるか、不安な気持ちで入学しました。しかし、3年間学んだ事は全て、学生時代から就職しても、本当に役立ちました。保

同窓会の情報はホームページから

平成22年12月より本会のホームページを開設しています。内容は会長あいさつ・役員名簿・会則をはじめ、思い出広場としてフォトアルバムが掲載されているほか、母校の校歌や応援歌を聞くこともできます。また、事務局からのお知らせとして、総会や各支部の情報を随時掲載しています。会員の皆様にはぜひアクセスしていただき皆様の交流に活用していただければと考えております。

本会ホームページには「伊具高校同窓会」で検索していただくか、下のURLを利用してアクセスしてください。



URL <http://www.igukou.com>

夢を叶えて

穴戸 亜理沙

（総合12回・関東支部）

卒業して4年ほど経ちました。今は羽田エアグラウンドハンドリ

育や介護の知識はもちろん、研究論文の作成や資料づくりにはパソコンの技術が役に立ったり、農業の時間の販売実習は、初対面の人との関わり方を学ぶ事ができた有意義なものとして、卒業後の私の基になってくれました。

担任だった高橋先生の言葉、「生活技術科は伊具高の全科のいいところ取り。何でもできるよになる！」を思い出しました。言葉通り、たくさんの方の事を学び、今の私を支えてくれています。

ング株式会社に入社し、羽田空港でグランドスタッフとして外資の航空会社の社員として働いています。自分の夢が叶えることができたのはとても誇りだと思っています。この道に進むまでに伊具高校でいろんな先生のお世話になりました。最初は高校を卒業してからすぐ就職しようと考えていましたが、やはり小さい頃からなりたいという夢をどうしても諦めることができなかった。進学という道を選びました。勉強や面接練習など日々努力し、何度も先生から厳しい指導を受けました。先生たちがいたからこそ、私は今自分がなりたいことがグランドスタッフになることができたと思っています。なかなか地元で帰ると、とが少なくて久しぶりに帰ると、

自然に囲まれて時間もゆっくりと進んでいる感じがしていつも癒されます。伊具高校で仲良くしていた友達とも今でも遊んでいます。皆とても優しく面白いです。人ばかりでいつも楽しいです（笑）。またいつも思い出話をしたりして、笑いが止まらなくなります（笑）。

今は、グランドスタッフとして働いて、たくさんの方の国籍のお客様と接客します。どんなサービスをしたら喜んでいただけたか、より快適に旅行していただけるか日々考えています。そのおかげで人々を思う気持ちがより磨かれました（笑）。今でも毎日羽田空港で頑張っています。後輩の皆も夢に向かって努力すれば叶えることができます。応援しています。

母校だより

創立100周年

記念事業

主幹教諭 阿部 茂夫

本校は大正9年4月17日を開校記念日とし、平成32年に100周年を迎えます。

この間、校名変更を2回（宮城県伊具農蚕学校→宮城県伊具農蚕高等学校→宮城県伊具高等学校）行ない、学科改編を6回行いました。男子部農蚕科・女子部から始まり、昭和24年に普通科設置、時代の流れと共に農業科、生活科、産業技術科、生活技術科などの名称でした。又、定時制や分校もあり、地域の将来を背負う学校としていたことがうかがえます。現在の総合学科は平成11年4月からのスタートで、18年が過ぎようとしています。創立記念事業も学制改革後30周年、40周年、50周年、60周年、70周年、80周年、90周年と行ってきました。この間卒業生は全日制・定時制を含めると13,913人になり（平成27年度）、地域を支える人材として各方面で活躍しています。

90周年は平成22年11月11日に記念式典・記念講演・記念植樹・記念祝賀会・記念誌発刊を行いました。準備委員会から数えると27回の委員会開催がありました。校内で組織する推進委員会を含めると50回以上の委員会を開催したように思います。

90周年を担当いたしました

朝から沢山の式典があり、忙しかったことを思い出します。始めに、「記念植樹式」です。

校門左側に7mの「もみの木」を植えました。事前に農学系列の生徒が植栽の準備を行いました。当日は碑文角材の除幕と植樹を行ない、「もみの木」についてのも説明されました。

記念式典は本校体育館で行ない、式次第は次のようになっています。

「開会宣言」

「国歌斉唱」

「学校長挨拶」

「感謝状贈呈」（本校に貢献のあった方々・同窓会長）

「祝辞」（丸森町長）

「来賓紹介」

「生徒代表挨拶」（生徒会長）

「校歌斉唱」

「閉会宣言」

記念式典の次は記念講演でした。この間30分の会場準備を設けるのと同時に記念植樹式のビデオ上映を行いました。

記念講演は本校を昭和45年、商業科を卒業した、株式会社ケーシン代表取締役副社長の佐々和幸氏に講演をお願いしました。演題は「グローバル化の時代に勝ち残る人」でした。この講演を行うに当たり、佐々副社長は「スペシャルチーム90周年」という講演専門のチームを編成し、スライド・音響等の細部まで考えてくださり、来場者に「見る・聞く」の楽しさを演出してくれました。内容はご自身の高校時代の生活から始まり、海外勤務の話、製品に関する環境問

題など、これから社会に出る高校生向けの話でした。

講演後は記念祝賀会です。国民宿舎あぶくま荘でPTA役員の進行で盛大に行われました。式典・講演会の参加者は514名で祝賀会は112名でした。

90周年記念誌は「新たな世紀を迎えて」という題で学校の概況と同窓生からの寄稿文が入り、又、本校風景写真などを入れて83ページで構成されています。

90周年で使われた図袋や記念式典の表紙などは情報系列の生徒が携わり、当時の3年次生が描いたものでした。

以上のように90周年は、同窓生を中心に、PTA、職員、生徒が携わり盛大に執り行われました。

平成32年に本校は創立100周年を迎えます。現在決定しているの事業は、記念式典・記念誌発刊・記念講演・記念祝賀会です。これらの行事を進めていくために、同窓会、PTA、職員、生徒が丸となって取り組まなければならぬと思います。90周年から10年ではありますが、10年間の思い出は無く、100年間の「お祝い」として取り組んでいき、100年の重みを実感したいと思っています。

大会三冠を目標に 女子バドミントン部

2年 加藤 奈菜

私たち女子バドミントン部は2年次7名、1年次1名の計8名で活動しています。6月に先



輩達が引退してからは、部員一人ひとりが協力し合い、活動しています。私たちの部活動目標は仙南支部の大会で三冠をとることと、県大会でベスト16に入ることとし、日々練習に励んでいます。

先輩が引退した後の仙南新人大会では、今までの練習を思い出して大会に出場しました。部員一人ひとりが全力で試合をし、個人戦ではダブルス2組、シングルス2名が県大会へ出場することができました。団体戦は、高校総合大会で悔しくも決勝戦で角田高校に負けてしまい、準優勝で終わってしまったので、その悔しさをバネに部員全員で練習をしてきました。そして大会当日、私たちはほとんど勝ち進み、決勝戦でまた角田高校と対戦することになりました。私た

生徒の活躍

七郷柔道愛好会会長杯

個人2学年 第3位 目黒 拓

仙南総体卓球大会

男子シングルス 第3位 鈴木 章仁

仙南総体柔道大会

男子団体 第3位

男子個人

73kg級 第2位 塚目 拓実

+100kg級 第3位 目黒 拓

90kg級 第3位 加賀山航大

仙南総体バドミントン大会

女子学校対抗 第2位

全日本吹奏楽コンクール

県大会予選名取・仙南地区大会

高等学校小編成の部 銅賞

くりこま高原高校

男子5000m競歩

陸上競技選手権大会

男子5000m競歩 第3位 佐藤仁一郎

名取ソフトテニス協会会長杯

仙南高校選手権大会

高校男子の部 優勝 小野 聡

佐藤 旭

県学校農業クラブ連盟

家畜審査競技大会

肉用牛の部団体 奨励賞

肉用牛の部 奨励賞 栗田菜々子

乳用牛の部 奨励賞 今野 真希

弘法大師奉賛高野山読書大会

高野山書道協会賞 齋藤 陽奈

仙南高校美術展

優秀賞

2016電気自動車エコラン競技大会

in SUGO

四輪部門団体 優勝 電気機械部

四輪部門団体 第2位 電気機械部

ジュニアクラス団体

第5位 電気機械部

手作り自動車省燃費競技大会

高校の部団体 第1位 電気機械部

高校の部団体 第2位 電気機械部

系列紹介「福祉系列」

母校は平成11年度に、それまでの「産業技術科」・「生活技術科」・「商業科」の専門学科から「総合学科」に改変され、今年度で18年になります。「総合学科」はたくさんさんの選択科目の中から自分だけの時間割を作成していくことが可能です。母校にはその科目選択の基準として「農学」・「機械」・「情報」・「福祉」の4つの系列があります。今回は「福祉系列」とはどのような系列なのか、どんな事を学んでいるのか、在校生の作文を通して紹介します。

保育実習を通して

3年 藤山 玲華



福祉系列の「子ども文化」を選択している私たち10名は、今年度、町内にある「丸森たんぽぽこども園」を4回訪れました。たんぽぽこども園の子ども達は元気が良く、私たちが保育実習に行くたびに「おはようー！」などと声を掛けてくれて、私たちの緊張も少しずつ

ちは負けるという気持ちやそんな考えを捨て、勝つことだけを考えた試合に集中しました。みんな試合で点を取るたび声は大き

くなり、ミスが減っていききました。結果、優勝することができました。みんなで協力し合い、「勝ちたい」という気持ちがひ

ほぐれていきました。

今回の実習で印象的だったことは、先生方の指示の出し方です。例えば、食事のあいさつや後片付けをする時など、先生の弾くピアノに合わせて子ども達が「いただきます」をしたり、自分たちが使っていたおもちゃを友達と一緒に片付けたりして

いました。このようにして基本的な生活習慣を身につけることが将来に生かされていくと思えました。また、けんかをしていた時には、みんなが納得できるようにわかりやすく短い言葉で視線を合わせながら話をしていく様子も、とても印象的でした。

子ども達の元気の良さにはさすがの私たちも負けそうでした。しかし、元気が良いだけではなく、だっこをせがんできたり、小さな手で私の手をぎゅっと握って「一緒に遊ぼう」「こっち来て」などと言われたりすると、可愛らしくて何でもしてあげたい気持ちになりました。

実習で学んだことは、コミュニケーション能力の大切さや周りの状況を見ながら判断して適切に行動することの大切さです。私は卒業後は接客の仕事に就きます。実習で体験したことを将来の仕事に生かすだけでなく、自分が親になった時に思い出すことができたと思います。お忙しい中、実習を受け入れ

とつになり優勝できたと思います。今回の優勝は私たちにとって、大会で三冠を取るという目標に一步近づいたと思います。

てくださった丸森たんぽぽこども園の先生方、そして一緒に活動してくれた子ども達のお陰でとても充実した時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

介護職員初任者研修

3年 畑 和恵

私は幼い頃から祖父母と一緒に暮らしており、高齢者の方々と接する機会が多くなりました。その中で近所の高齢者の方の手伝いをしたところ、何度も感謝されたのが嬉しく、高齢者の方々の役に立ちたいと思うようになり、介護職に興味を持ちました。また、伊具高校では介護職員初任者研修の資格取得が可能です。その取得を目指し始めました。

資格取得に向けて様々な課題に取り組んできました。資格を取得したい理由の作文や、介護施設での現場実習などをしました。私が実際に利用者の方と接したのは2年次でのインターンシップでした。認知症高齢者グループホームとデイサービス、訪問介護などを体験しました。このインターンシップで利用者の方が私に対して、たくさん笑顔や「ありがとう」という言葉を掛けてくださり、ますます介護職員への憧れが強

私たちは今のままではなく、もっとうまくなり、目標を達成できるように、これからも練習を頑張りたいと思います。

なりました。また、資格取得に向けて頑張っていることを改めて思うことができました。インターンシップの他に、夏休み中に2日間の介護実習がありました。職員の方にアドバイスをいただきながら様々な介護方法を学ぶことができました。このような課題に3年間取り組み、冬休み前にあった筆記試験に向けての勉強も並行して頑張ってきました。筆記試験の範囲は高校3年間の福祉系列での学習内容だったので、とても広くて大変でした。筆記試験の1・2週間前から勉強しておけば良いようなレベルではありませんでした。

私は試験の約1週間前にインフルエンザにかかってしまい、勉強ができなかった期間があり焦りがさらに大きくなっていました。しかし、何とか教科書を読んだり、練習問題を繰り返し解くなどして勉強を頑張り試験に組み込みました。その結果、見事合格することができました。卒業後は介護の仕事に就きます。

伊具高校で学んだことを生かし、誰からも認められる介護員になれるよう頑張っていきたいと思っています。



生徒活動成果発表会

展示発表の部団体

優秀賞 電気機械部

仙南高校写真展

銀賞 佐藤 麗羅

仙南新人バドミントン大会

女子学校対抗戦 第1位

仙南新人柔道大会

男子90kg級 第1位 加賀山航大

男子100kg級 第1位 目黒 拓

県新人柔道大会

男子90kg級 第3位 加賀山航大

仙南新人ソフトテニス大会

男子団体 第3位

仙南新人弓道大会

男子個人 第6位 鈴木 彰太

仙南新人陸上競技大会

男子5000m競歩 第3位 佐藤仁一郎

県高校写真展

入選 八巻 呂亜

入選 櫻井 海王

奨励賞 八巻 呂亜

奨励賞 櫻井 海王

奨励賞 佐藤 麗羅

県高校書道展覧会

漢字の書 特選 齋藤 陽奈

漢字の書 特選 横山こはる

仙南納射会

2年個人 第6位 鈴木 彰太

仙南冬季卓球大会

男子シングルス(2部)

第1位 和田 淑

白石市卓球協会長杯卓球大会

一般男子団体(3部) 第2位

角田市市民卓球大会

男子シングルス 第1位 鈴木 章仁

県高校生溶接技術競技大会

優秀賞 山口 愛未

まるとり食と農の祭典

家庭料理コンテスト

銅賞 伊具高校ブロッコリーズ

特別賞 伊具高校モモハス

日本童謡の書展覧会

準大賞 横山こはる

全国学生書道展

半紙の部 書道芸術院理事長賞

齋藤 陽奈

支部だより

角田支部から

小形 とき子

(生活20回・角田支部)

若葉や花々の香りに満ちあふれる季節となった平成28年5月28日(土)、角田市本町「中華料理かんの」の2階大広間で、平成28年度宮城県伊具高等学校同窓会第2回角田支部総会・懇親会(支部長・湯村勇)が開催されました。角田の5支部が統合して2回目ということで、角田市長の大友喜助様・丸森町長の保科郷雄様にご案内を差し上げたところ、快くご臨席を賜りました。佐藤吉市同窓会長、学校からは校長先生・教頭先生・事務室長様、事務局の鈴木英晴先生に出席していただきました。また、丸森町大張支部長の大槻孝雄様にもご臨席を賜り、総勢30名となりました。



開会の前に角田支部恒例の校歌を斉唱し、総会が始まりました。

庄司径二校長先生より母校の近況報告があり、同窓会長様からは、4年後に迎える母校の創立100周年記念事業の今後の予定についても含めてのご挨拶をいただき、議事に進み平成27年度の事業・会計報告、平成28年度の事業計画の提案があり承認されました。

その後、出席者全員で記念撮影を行いました。

懇親会では、1年ぶりの再会を果たし、お酒も進むと多くの方々が学生時代に気分が戻り、思い出話に花が咲き、楽しい時間を過ごしました。例年以上に和やかな雰囲気で大いに盛り上がりました。

平成29年度の第3回角田支部総会・懇親会は、平成29年5月27日(土)午前11時より「内町荘」(角田市尾山山入、送迎バス有)で開催する予定です。会員の皆様、お誘いあわせの上、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

大張支部総会

佐藤 謙 一

(農業37回・大張支部)

平成28年7月30日に、国民宿舍あぶくま荘において、平成28年度伊具高等学校同窓会大張支部総会が行われました。大張地区は8行政区ありますが、各区平均3名、23名の参加でした。ご来賓として母校・同窓会から4名様、事務局から1名様お出

でいただきました。

まず、大槻孝雄支部長による開会挨拶から始まり、ご祝辞を佐藤吉市同窓会会長と庄司径二伊具高等学校校長よりいただきました。創立100周年を迎える事や在校生の活躍ぶりなどお話しいただきました。平成32年度が100周年にあたるので忙しくなりそうです。続いて議長選出。議事に移り第1号議案から第4号議案まで承認されました。第1号・第2号議案は、事業計画と収支決算予算について、第3号議案は任期満了に伴う役員選任について、第4号議案は大張支部会則の一部変更について審議され承認されました。(資料作成お疲れ様でした。)

無事に支部総会が閉会し、鈴木事務局より母校の近況報告を挟み、場所を隣に移して懇親会の開宴となりました。菊地副会長、並びに小形副会長からご挨拶をいただき、同窓会の厚さを感じました。ここからが大張支部の見せ所。あぶくま荘ではバスの送迎が充実していますので、帰りの心配は無し。時間の許す限りマイクは休みなし、空瓶の交換も休みなし。特筆すれば、2人の元応援団長からの演舞があり、全員で校歌斉唱と続き、私たちを励ましてもらいました。

連絡としまして、大張支部総会は毎年お盆前後に開催する予定です。近くなりそうですと回覧がありますので、同窓生はお誘いの上参加願います。

大内支部
同窓会総会報告

菅野 憲 一

(定農19回・大内支部)

平成28年9月3日、大内支部総会が大内地区内「佳寿司」にて開催され、20名の方が出席されました。菅野秀一支部長の挨拶に始まり、佐藤吉市同窓会長より他支部の状況と庄司径二学

校長より母校の後輩達の活動等についてお話を頂きました。さらに、鈴木事務局より平成32年11月開催予定の「創立100周年記念式典」についての準備委員会の活動報告があり、今後、準備委員会から実行委員会へ移行し、着々と計画が進んでいるとの報告と、開催に向けて今後協力をいただきたい旨の要請がありました。出席された同窓生からは、100周年という伊具高等学校の歴史は重みのあるもので、母校卒業以来40年とも50年ともなるそれぞれの人生において、母校在学中を振り返ると良き懐かしい思い出が蘇りますと語る方もおられました。

総会では前年度の事業及び収支報告と本年度の事業計画案及び収支予算案について協議され、すべて承認されると共に、「創立100周年記念式典」に向けて菅野支部長を中心に一致協力していく旨の了解を得ました。懇親会では今回初めて出席された方もおり、大いに盛り上がり、年代を越えて100周年記念事業の件や、在学時の思い出話、それぞれの趣味等についてなど、和気藹々と語り合い盛況

でした。常にはカラオケ等を歌う方も歌を忘れて話に夢中になるなど一時でも昔を語り、母校を思い懐かしむ、童心に戻れた一夜をそれぞれに楽しんだ様です。

多くの卒業生がある中で、支部総会出席者もいつも20数名と少ない事もあり、次回は呼び掛けに工夫を凝らし、より多くの出席者が参集され、より盛会裡に総会が開催される事を願います。大内支部総会を終えました。



編集後記

母校創立100周年まであと4年と迫る中、100周年記念事業実行委員会が発足しました。これから具体的な事業について、会員の皆様の意見を頂戴しながら、準備を進めていくこととなります。会員の皆様から高い関心を頂き、ぜひ協力したいとの声が寄せられ、同窓会事務局として心強い限りです。更なるご支援・ご協力をお願いいたします。
同窓会事務局 鈴木英晴